

第8回 市民のプラットフォーム

がっこう す 学校、好き?きらい?

8月25日(日)

14:00~16:00

あきる野市 中央公民館

別館2階 第7研修室 (参加費:無料)

多くの人が、「学校へ行くのは当たり前」と思っていることでしょう。でも、不登校の子は年々ふえているし、時には、追いつめられた子たちの、悲しい事件も報道されます。

子どもたちにとって、学校は、どんな所なのでしょう。

不登校になった子の親と先生がじっくり話し合って、学校に通えるようになることもあるでしょう。一方、それぞれの子が、自分に合ったペースで、自由に学び、遊べる「フリースクール」に通う子もふえています。

どの子にも、そのままの自分を受け入れてもらえる「居場所」があってほしいものです(おとなにも!)

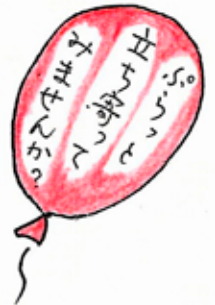
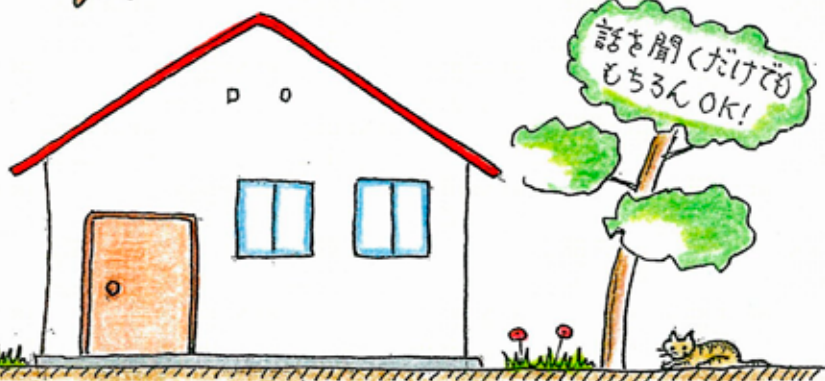
今回は、子育て中の人も含めた数人の方に、それぞれの体験や思いを話していただき、学校についてのあれやこれやを、みんなで、ざくばらんに語り合いたいと思います。

どうぞ、お気軽にご参加ください。

主催:くさしぎ・草の根市議と
市政を考える会

連絡先:042-596-4569
(佐橋)
サバシ

e-mail:kusasigi@nifty.com



「市民のプラットフォーム」って何？

※「プラットフォーム」とは、停車場(駅)とか(建物の)土台、あるいは振り所のこと。人々のつながりを支える土台、という意味で使われたりもします。

子どもが学校に行きたくないって言い出したんだけど、どうしよう...



日々の暮らしの中で、困りごとにぶつかったとき、情報を集めたり、同じ悩みを抱える人と出会ったりすることで、解決の糸口が見えてくる場合があります。

日本の教員は世界でいちばんいいのがしいんたって、あきる野市ではどうなの？



学校ってぜったい行かないの？

また、暮らしの中で、「なんで?」「このままでいいの?」と感じたとき、その小さな「?」をそのままにせず、調べ、考え、声を出すことで、「市民参加の政治」が始まります。

あきる野市の政治って、どうなの？

そのために、人と人が情報を交換し、語り合い、つながっていく場。それが「市民のプラットフォーム」です。




今の世の中、ネットでも簡単に情報が手にはいります。でも、逆に情報が多過ぎて、何を信じていいのか迷ったりしませんか? “偽ニュース”をバラまく人たちもいるようだし……。

そんな世の中だからこそ、人と人が顔を合わせて話す、聞くことが大事なのではないのでしょうか。

「市民のプラットフォーム」で、すぐに悩みや疑問が解決するとは限りません。でも悩んでいるのが自分だけじゃないと知ってホッとしたり、今まで考えていたのと別な見方があると知ったりすることで解決の手がかりがつかめることもあるでしょう。

そんな、人と人とのつながりを大切にしたい、と思っています。

「くさしぎ」の紹介



「くさしぎ」は鳥の名前ですが、「草の根市議」という意味も込め、会の名前としました。

2011年の福島原発事故以後、多くの気づきがありました。その中に「今まで私たち市民は、あまりにも政治家に政治をお任せにし過ぎたのではないか」という苦い反省もありました。

「くさしぎ」は、この反省に立ち、もっとも身近な市政に、私たちの代表の「草の根市議」を誕生させ、その市議とともに、一般の市民が主体的に市政に関わって、こう、と呼びかける、あきる野市民の会です。関心を持たれた方は、ぜひご連絡ください。